

竹原市での地域課題対応研修実施状況及び方向性

竹原市の公民館の状況

- 小学校区ごとに13館（うち4館はコミュニティーセンター併設）。
- 非常勤職員2名（館長、主事各1名）が週24時間勤務。
- 平成19年度までの職員研修
 - ・ 年1回の合同研修会（市公民館連絡協議会との共催）
 - ・ 県公民館等職印研修会等への参加

竹原市における協働まちづくり

- 平成16年 緊急行財政対策プログラムに基づき推進決定。
- 平成17年 協働まちづくり推進プランの策定。
- 5年間の地域行動プランの策定。（住民主体）

住民と一緒にまちづくりをしていくためには
どのような研修をしていけば良いのだろうか。

平成20年度「これからの公民館の役割」

日時 平成20年6月18日 15:00～17:00
会場 竹原市民館
講師 県立生涯学習センター生涯学習推進マネージャー 葛原生子
同 専門員 高松公一

- **【講義】公民館ということろ**
 - ・ 公民館はひと・まちづくりの鍵「生涯学習」の地域拠点
 - ・ 公民館のいま：「個人の自己実現」から「住民力」を育てる場へ
 - ・ 公民館のゆくえ：“私たち”がつくる“私たち”の公民館に
 - ・ 公民館グループ活動のいま・これから
 - ・ 「生きがい追及」から「学習成果の社会的活用」まで
- **【ワークショップ】“私たち”の公民館づくりに向けて**
 - ・ まずは知ろう、知ってもらおう。（ペアワーク、グループワーク）
 - ・ みんなで考えよう、私たちの公民館のこと。（グループワーク）

平成20年度は、他の公民館のことがわからないという職員が多いため、お互いの公民館のことを知ってもらうための意見交流を中心に行いました。

「住民力」とは
① 地域の課題を解決する力
② 「ソーシャルキャピタル」（人間関係資本）を創る力
③ 「ケア」の場（居場所）を再構築する力



平成21年度「これからの公民館の役割パート2 ～学びの場（講座）のつくり方“基本のキ”～」

日時 平成21年7月15日 15:00～17:00
会場 竹原市民館
講師 県立生涯学習センター生涯学習推進マネージャー 葛原生子
同 専門員 徳重宏美

- **【講義】公民館の存在意義について**
 - ・ 公民館のいま：「個人の自己実現」から「住民力」を育てる場へ
 - ・ 公民館のゆくえ：“私たち”がつくる“私たち”の公民館に
 - ・ 公民館の仕事 ～学びの場（講座）をつくる力が公民館の底力～
 - ・ 今、求められる学びの場のつくり方
- **【ワークショップ】実践を分析し、学びの場（講座）づくりのポイントを学ぶ。**
 - ・ 県立生涯学習センターホームページから事例を紹介し、その事例を分析する。
 - 個人ワーク…「参考になるところ」「疑問に思うところ」「自分ならこうする」
 - グループワーク…個人で気づいたことを紹介し意見交流を行う。最後に全体場で発表する。

平成21年度は、公民館が地域の学習拠点として、地域の課題を解決するために「人づくり」・「個性づくり」の役割を担うことを学びました。



① 個人の要望と社会の要請をつなぐ工夫
② 地域の総資源の総活用
③ 学習者の参画とエンパワーメント（力をつける）

平成22年度 まちづくり推進課の担当者が県主催の研修を受講

平成22年度「生涯学習振興・社会教育行政の今後の方向性と公民館の役割」

日時 第1回平成22年7月21日14:15～17:15 第2回平成22年8月26日13:30～16:30
 第3回平成22年12月2日13:30～16:30 第4回平成22年12月14日13:30～16:30
 場所 竹原市民館
 講師 県立生涯学習センター生涯学習推進マネージャー 葛原生子
 同 社会教育主事 徳重宏美

○【講義】生涯学習振興・社会教育行政の今後の方向性と今後の公民館の役割

- ・新しい教育基本法と生涯学習振興・社会教育行政
- ・生涯学習という考え方
- ・社会教育行政と公民館の役割
- ・今後の方向性と本研修のかかわり

○各地域の実情やニーズを把握すること
 ○学習活動の成果を地域に生かすこと
 ○連携・協働して地域の課題解決に向けた支援をすること
 ○公民館が、地域における「公共」を形成するための拠点となること

○【説明・演習】市のアンケート調査等から公民館活動に関する現状とニーズ分析

- ・竹原市まちづくりアンケートの概要と調査結果の説明
- ・グループワークによる現状とニーズ分析

○【講義・演習】アンケート調査の内容と方法の検討（※アンケート作成）

- ・社会教育調査の進め方（調査の必要性、調査の流れ、調査計画、調査票の作成、調査結果のまとめ）
- ・現状や課題を把握するためのアンケート調査の内容と方法について検討する。
- ・調査項目の抽出（グループワーク）、調査票の作成（全体ワーク）

○11月にアンケート「公民館活動についてのアンケート」を実施

・期間11月4日～11月17日 回収率78.6%（1,061/1,350）

○【演習】アンケート結果の分析

- ・アンケート結果から、市全体や地区ごとの状況、良い点、問題点及びニーズを整理し、まとめる。

○【演習】アンケート結果から課題を明らかにし、解決の方法を検討する。

- ・アンケートのデータやコメントから、市全体や地区ごとの課題を明らかにし、それを解決するための事業を3年後を見通して検討する。

平成22年度は、アンケートの作成、実施、分析を通して、地域の実情やニーズを把握するとともに、課題設定や課題解決に向けた事業を検討しました。

公民館活動についてアンケート

みなさんの地域にある公民館の役割は、どのくらい必要と認識していただくことが大切と想っています。そこで、抽出されたアンケートを行います。お忙しい時間とは存じますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

■ アンケートが記入の場
 ※お手持の用紙または用紙を1つ印刷してください。（複製用紙もあります。）

■ アンケート印刷の依頼
 11月15日（金）までに印刷した公民館へ提出してください。

■ 問い合わせ先
 〒730-0006 竹原市中央五丁目5番15号 生涯学習センター
 竹原市生涯学習センター生涯学習推進部 電話：0864-21-1171（携帯：0864-21-1172）

1. あなたの住居の区名についてお答えください

1. 市役所	1. 1区	2. 2区	3. 3区	4. 4区	5. 5区	6. 6区	7. 7区	8. 8区	9. 9区	10. 10区以上
--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----------

2. あなたの性別についてお答えください

1. 男性	2. 女性
-------	-------

3. あなたの職業についてお答えください

1. 専業主婦/専業主夫	2. 会社員	3. 自営業	4. 無職	5. その他
--------------	--------	--------	-------	--------

4. あなたの年齢についてお答えください

1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人以上
-------	-------	-------	---------

5. あなたの性別についてお答えください

1. 男性	2. 女性
-------	-------

6. あなたの職業についてお答えください

1. 専業主婦/専業主夫	2. 会社員	3. 自営業	4. 無職	5. その他
--------------	--------	--------	-------	--------

7. あなたの年齢についてお答えください

1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人以上
-------	-------	-------	---------

8. あなたの性別についてお答えください

1. 男性	2. 女性
-------	-------

9. あなたの職業についてお答えください

1. 専業主婦/専業主夫	2. 会社員	3. 自営業	4. 無職	5. その他
--------------	--------	--------	-------	--------

10. あなたの年齢についてお答えください

1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人以上
-------	-------	-------	---------

平成23年度「地域の課題を解決するための学習プログラムの企画・立案」

日時 第1回平成23年7月15日13:30～16:30 第2回平成23年8月4日13:30～16:30
 第3回平成23年8月22日13:30～16:30 第4回平成23年9月13日13:30～16:30
 場所 竹原市民館
 講師 県立生涯学習センター生涯学習推進マネージャー 葛原生子
 同 主査 沖本直樹

○【演習】昨年度のアンケート調査結果から課題を抽出する。

- ・自分の公民館エリアにおける地域防災学習の現状の問題点、課題をまとめる。
 （災害への危険認知、家庭での備えや対策、地域の互助意識・活動、非常時の連絡体制、関係機関との連携、災害後の生活支援）

○【講義】学習プログラム開発の理論と手法

- ・学習プログラムとは
- ・学習プログラムの作成手順の説明

○【演習】学習プログラム開発の実際①

・竹原市公民館地域防災学習計画作成

○【演習】学習プログラム開発の実際②

- ・個別事業計画作成
- ・発表と相互評価
- ・リデザイン

○【演習】学習プログラム開発の実際③

- ・各回の実施計画作成
- ・発表相互評価
- ・リデザイン

平成23年度は、昨年度のアンケート結果から課題を設定し、課題解決に向けた事業の学習プログラムを作成しました。
 今回作成した学習プログラムは、研修終了後も内容を加筆修正しながら、冊子としてまとめ、竹原市内の公民館で実際に実施していく予定です。

☆研修会の様子から

「研修前に資料を届けて欲しい。時間のあるときに見ておくとしっかり考えておくことができるから。」という方や「時間がもっと欲しいので、みんなで時間前に集まって準備しました。」というグループなど職員の方は大変意欲的に取り組んでおられます。

また、職員の交流の場として、お互いの情報交換や近況を楽しそうに話しておられます。このようなつながりが、それぞれ公民館に帰られてからも役に立っていることと思います。

県立生涯学習センターが竹原市の研修に関わって4年目になりますが、市の担当者の方が熱心にセンターへ足を運ばれ、打合せをしてこられたことが形になって表れていると感じています。



平成22年度に実施したニーズ把握のためのアンケート調査では、「地域防災」と「世代間交流」に絞ってアンケート項目を検討しました。
 来年度は、「世代間交流」をテーマとして学習プログラム開発を行う予定です。そして、平成25年度は、別の内容で研修を行う予定です。